

## ■橋の強さ（耐荷、軽量）部門 決勝大会の競技種目等

《個人戦：一般》

種 目		競 技	決勝大会 作品数	応募 作品数
耐荷	無差別級	100gの新聞紙で作った橋に作品の真ん中に錘（おもり）を下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。	7	40
	10cm以下級	無差別級の条件に加え、競技台の上面から下部分が10cm以下という制限の中で製作し、作品の真ん中に錘（おもり）を下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。	6	37
軽量		1kgの錘（おもり）に耐える橋を、いかに軽く作るかを競い合う。	5	19
デザイン	製作テーマ「can do 橋」	100gの新聞紙で独創性・機能性・企画力など、与えられたテーマに沿ったデザインを競い合い橋を作る。	3	61

《個人戦：中学生以下（製作者が中学生以下の方）》

種 目		競 技	決勝大会 作品数	応募 作品数
耐荷		100gの新聞紙で作った橋に作品の真ん中に錘（おもり）を下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。	9	85
軽量		1kgの錘（おもり）に耐える橋を、いかに軽く作るかを競い合う。	2	10
デザイン	製作テーマ「can do 橋」	100gの新聞紙で独創性・機能性・企画力など、与えられたテーマに沿ったデザインを競い合い橋を作る。	2	85

《団体戦（学校対抗）》

種 目	競 技	参加 チーム数
耐荷 【無差別級】 《学校対抗》	同一の大学（大学院）・高専・専門学校・高校で1チーム5名を上限として3橋製作し、耐荷（無差別級）と同様の条件で、トーナメント戦形式にて競技する。	12

## ■表彰および副賞

各部門の成績上位者に表彰を行います。

《デザイン部門》

最優秀賞、優秀賞、特別賞

《橋の強さ（耐荷、軽量）部門》

【個人戦 一般・中学生以下】

耐荷 (無差別級・10cm以下級)	最優秀賞	優秀賞	第3位
軽量	最優秀賞	優秀賞	
デザイン	最優秀賞	優秀賞	特別賞

【団体戦（学校対抗）】

最優秀賞、優秀賞、特別賞

## ■主催・後援

主催：中日本高速道路株式会社名古屋支社

後援：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、公益社団法人土木学会中部支部、名古屋大学、名古屋工業大学、名城大学、愛知工業大学、国立大学法人岐阜大学（順不同）